

産業建設常任委員会の所管事務調査

令和3年8月11日実施

地球温暖化に伴い、集中豪雨が発生する頻度が高くなっています。



物部町における 平成30年豪雨災害の未復旧箇所は

西谷川河川災害



岡ノ内

平成30年と令和元年に被災し、護岸決壊が数カ所発生。

現場までの道路も被災しており、工期が伸びていた。

令和3年度末までに完成予定。

急峻な地形に加え、線状降水帯の発生など近年の雨の降り方も変わっており、山腹崩壊といった災害が多発しています。特に平成30年7月豪雨では、西日本全域に大きな被害が発生し、本市でも多くの場所が被災しました。

同時に発生する災害箇所が多くなると受注業者が不足します。また、工事が長引くと途中で新たな災害が起こることがあります。

一刻も早い復旧が望まれます。

市道別府土居新屋線道路災害

行者谷川沿いの市道で、平成24年から被災・復旧を繰り返している。

国道を流れる雨水対策に、県が側溝を整備した。

災害復旧を早くすることで、再被災を受けないよう取り組んでいる。既に完成して検査待ち。



別府



須賀井トンネル周辺の山腹崩壊

豪雨により2カ所が崩れ、その後拡大し大規模に崩落した。

現在も変状がないか観測を続けている。



根木屋

泉谷川・同支川河川災害

河川の原型がなくなるほどの災害で、農地災害との複合で進んできた。

主に4カ所あり、2カ所が完成。残りは工事内容見直しを行い、今年度完了予定。



影仙頭